



若葉小CSだより

第1号 令和6年6月11日

～ 若葉で人を育み、人が若葉をつくる ～

若葉小学校は、「地域とともにある学校」づくりを目指した『コミュニティ・スクール（以下、CS）』です。CSとは、「学校運営協議会」という会議を設置する学校のことで、従来も「学校評議員制度」があり、地域や保護者の代表の皆様から、児童のよりよい成長のために、学校経営に対してご意見をいただく場を設けておりました。「学校運営協議会制度」は、そこから一歩進み、学校と地域が『協働』して、ともに当事者意識をもちながら、子どもたちが抱える課題を解決したり、地域を担う人材を育てる活動を行ったりすることについて熟議を行う組織です。

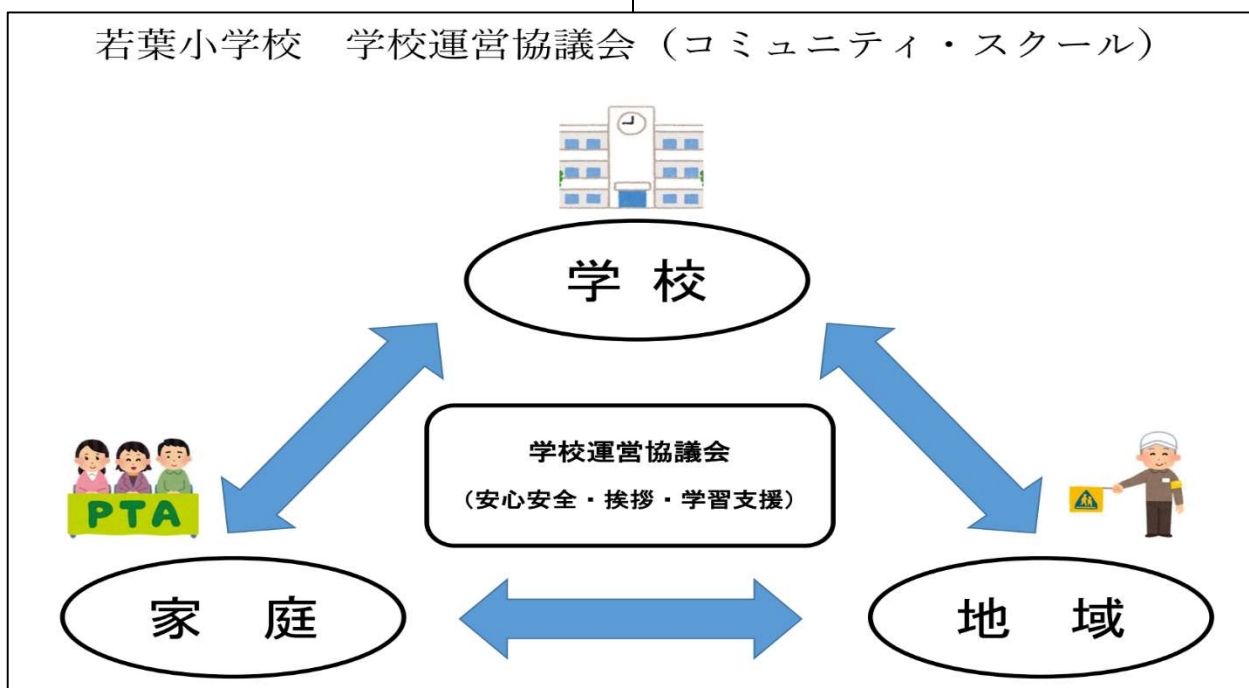
6月9日（日）に第1回学校運営協議会を行いました。協議の中では、学校や地域でのあいさつの様子、放課後の家庭や地域での過ごし方、学校での学びの支援、など今何が必要か・何ができるのかについて意見を交わしました。具体的な活動は、今後検討していきますが、『かしこく・やさしく・ただしく』の学校教育目標のもと、ビジョンを共有し、学校と地域とともに歩んでいきたいと考えています。保護者・地域の皆様には、「学校の応援団」である学校運営協議会についてご理解とご協力をお願いします。



令和6年度 若葉小学校運営協議会委員（敬称略）

岡本 茂之	若葉地区区長会会長（兼運営協議会会長）
牟田 誠	若葉地区在住教職員 OB （兼運営協議会副会長）
岡本 昭徳	若葉まちづくり推進センター長
島 哲之	鳥栖市老人クラブ連合会会長
天本 哲	若葉小学校 PTA 会長
今村 真由美	若葉まちづくり推進センター運営委員 （兼地域学校協働活動推進委員）
江頭 尚子	本校校長
山本 英彦	本校統括事務長
遠藤 悟	本校教頭
松尾 美値余	本校指導教諭
岡部 圭子	本校主任主査

若葉小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）



※2面に続きます（2面には、令和6年度の実行方針を掲載しています）。

令和6年度 若葉小学校 コミュニティ・スクール取組方針

現状・課題① 安心・安全	現状・課題① あいさつ	現状・課題③ 学習支援
○保護者は児童の安全に対する意識が高い。 ○児童は安全に対する意識が意識や判断力が大人に比べて低い。 ○自分の命は自分で守る意識をもった児童を育てたい。	○学校は、学校運営方針の中にあいさつができる児童の育成を挙げている。 ○あいさつができる子とできない子の差がある。 ○学校だけでなく地域の中でもあいさつができる児童を育てたい。	○学校は児童一人一人に応じた学習指導を行っている。 ○故郷を誇りに思う児童を育てたい。 ○地域人材の協力を得て、教育活動に取り組みたい。

①コミュニティ・スクールとして、どのようなことができるのか。

・子供たちの安全を守る

②③コミュニティ・スクールとしてどのような子供を育てるのか。

・あいさつができる子供

・郷土を誇りに思う子供

コミュニティ・スクールとして育てたい子供の姿

- ①交通安全を守り、自分の命は自分で守ろうとする子供
- ②明るいあいさつができる子供
- ③地域の人々と交流し、郷土を誇りに思う子供

令和6年度の具体的な取組

- ①「交通安全を守り、自分の命は自分で守ろうとする子供」の育成
 - ・登下校中の安全指導、見守り、交通安全教室、
(交通指導員、地域・保護者見守り、学校での安全指導など)
- ②「明るいあいさつができる子供」の育成
 - ・のぼり(旗)の設置
(まちづくり推進センター、区長会へ設置の依頼、民生員会・保護者への周知)
 - ・学校の取組の周知、協力依頼
(まちづくり推進センター、区長会・民生員会での周知、保護者への周知)
- ③「地域の人々と交流し、郷土を誇りに思う子供」の育成
 - ・学習支援・・・学校運営協議会のコーディネーターに、地域の方とつないでもらい、学校の教育活動へ協力していただく。